労災ケア通信

第91号
2025年5月23日
発行：一般財団法人
労災サポートセンター
〒102－0073
東京都千代田区九段北4－1－3
飛栄九段北ビル10F
TEL 03－6834－2510（代表）
FAX 03－6834－2530
ホームページアドレス
https://www.rousaisc.or.jp

ケアプラザだより

ケアプラザ岩見沢

「年男としての豆まき」

入居者　田中俊明

私事ですが、46年前不慮の労災事故に遭い、九死に一生を得て以来車椅子生活となり、これまで多くの方たちとの出会いや別れがありました。

年齢的な不便さと家族負担が大きくなった頃、思い切って施設のお世話になると決断し、入居してから4年半が経ちました。

羽織袴の衣装を着た田中さん

今ではすっかり慣れ、至れり尽くせりの生活環境で、何の不自由もなく過ごさせて頂いております。今に思うに「正解だった」と強く感じております。

今年2月に施設行事の豆まきがあり、年男のイベントということで声かけがありました。

自分としては、今回が「人生最終年の年男」という思いがあったので、喜んで参加することにしました。

当日は羽織袴が準備されており、スタッフの皆さんで手早く着せて頂き、会場に入ると緊張と不安がありましたが、用意された豆などを力いっぱいに「福は内～～」との掛け声とともに、入居者の皆さん目掛けて飛ばしました。

車椅子ということもあり大変でしたが、年男としての舞台を感慨深い思いで楽しく過ごすことができました。

この様なイベントを準備してくれたこと、心より厚く感謝申し上げます。施設が永遠に福と幸せに守られることを願っております。

年男年女の皆さんによる豆まき

「第二十六回酒折連歌賞　受賞について」

入居者　金子幸男

私は山梨生まれの文芸「酒折連歌賞」に今までに4回応募し、今回初めて大賞・文部科学大臣賞に選ばれました。

受賞作
《問いの片歌》満天の星を巡らせ指揮棒止まる
《答えの片歌》振り向いてベートーヴェンは喝采を知る

会場で取材を受けていた時に受賞を知った際の気持ちを聞かれ、初夢が正夢になるなんて、本当にあるんだと答えました。

2月25日の授賞式は山梨学院大学で行われましたが、2月24日施設から新千歳空港までは介護タクシーで行き、新千歳空港から初めてのファーストクラスで羽田空港まで行きました。空港からホテルまでは息子の車で移動し、ホテルはスイートルームで私と息子の二人では十分なほどの広さでした。何より嬉しかったのは息子と同じベッドで枕を並べて夜遅くまで語り合ったことです。受傷してからまさかこんなことがあるとは思いもしませんでした。

元々私は千葉県木更津市の出身でしたが、縁あって8年前にケアプラザ岩見沢に来ました。

今回大賞を受賞して思ったことは、いつも誰かの協力があり自分は行動出

施設で記念写真金子さん（左）と施設長

受賞の際の記念撮影

取材を受ける様子

来るのだということです。介護タクシーに乗れば車いすをセットしてくれたり、介護タクシーから空港までは空港の職員が付いて飛行機に乗るまでお世話をしてくれたりと本当に有難かったです。そして、職員の皆さんから頂いた「おめでとう」の言葉が非常に嬉しかったです。

ケアプラザ富谷

「ケアプラザ富谷へ入居して」

入居者　高橋　秀利

私は、今年3月にケアプラザ富谷へ入居しました。出身は福島県、磐梯山の自然豊かな街で育ちました。

こちらに来る前は、相部屋のため2人で生活しておりました。そのため、なかなか気が休まる時がありませんでした。東北労災年金支援センターのケアサポーターさんにケアプラザ富谷を紹介してもらい、とんとん拍子に入居が決まりました。入居を大変心待ちにしておりました。

ケアプラザ富谷での生活は、想像していたとおり非常に快適です。今まで生活してきた中で、一番静かな環境です。すっかりこの生活が気に入っております。どうぞ皆さまよろしくお願いいたします。

ジャズをBGMにお部屋でくつろぐ高橋様

カラオケ大会&茶話会

総務課

4月9日（水）、毎年恒例の「カラオケ大会&茶話会」が開催され、30人を超えるたくさんの入居者の方々が参加されました。

日頃の練習成果を発揮し、聴いている人を元気にさせてくれるような歌や優しい気持ちにさせてくれるような歌など様々な歌声に、会場に集まった入居者の方々や職員は魅了されました。

会場で皆様方は、コーヒーなどの温かい飲み物やお菓子をいただきながら、ゆったりした雰囲気の中、熱のこもった歌声に耳を傾け、楽しいひとときはあっという間に過ぎていきました。

コーヒー等を飲みながら
熱唱に聴き入る入居者の方々

次回は、10月に予定していて、次も多くの入居者の方々に参加していただけるよう楽しい会を企画したいと考えています。

ケアプラザ四街道

美しい桜の下でお花見行事

行事実行委員会

ケアプラザ四街道では毎年、春になるとたくさんの美しい桜が咲きます。

今年も、お花見をより楽しむため、「お花見&カフェ」の行事を企画しました。

昨年は、お花見散策に合わせてケアプラザカフェとしてコーヒーを振舞いましたが、今年は趣向を変え、甘酒を提供することにしました。

ところが、行事の数日前から真冬に戻ったような寒い気候が続いたため桜は1分咲き程度、お花見を楽しむには少々寂しい風景となりました。幸い行事当日はぽかぽか陽気となり、入居者の皆様は、太陽の下で温かい甘酒を楽しんでくださり、沢山の方々がお代わりをされていました。

職員一同、来年もまた同じ時期に、こうして皆が健康でお花見を楽しむことが出来ますよう祈念しています。

甘酒を楽しむ入居者様

お花見カフェの甘酒カウンター

小さな畑を作りました

作業療法士

心身の機能を維持するために日々の適度な運動や活動はとても大切なことです。リハビリテーションに熱心な方もいればあまり関心を示されない方もいらっしゃいます。リハビリという枠ではなく活動のきっかけ作りとして、敷地内の空きスペースに小さな畑を作りました。先日、入居者の方々と土を耕して肥料などを混ぜ、土づくりをしたあとにジャガイモを植えました。そんな私たちの姿をご覧になり顔を見せにくる方、じゃがいもの芽が出るのを、まだかまだかと観察に行く方、野菜栽培について助言してくれる方など、畑をきっかけに普段あまり部屋から出ていらっしゃらない入居者の方々も興味を示してくださり嬉しかったです。

まだまだ芽が出て間もない段階ですが、これからの成長そして収穫を楽しみにしています。

入居者の方々が楽しみに集う小さな畑

ケアプラザ瀬戸

施設長の『珈琲喫茶つのだ』

総務課

ケアプラザ瀬戸では以前から、珈琲喫茶を毎週水曜日の昼過ぎに行ってきました。

しかし、参加することが出来るのは、昼過ぎに離床している方に限られていました。

このため、極力多くの入居者の皆様にコーヒーを楽しんでいただきたいと、珈琲喫茶の〝マスター〟である施設長から相談を受けました。皆で考えた結果、昼食の後の時間帯に、淹れたてコーヒーを提供してはどうかということになり、今回で3回目となる食後の珈琲喫茶を実施しました。

新たにマグカップも準備し、今では4分の3の入居者の皆様が楽しんでくださっています。

実施にあたっては介護課そして食堂の皆さんにご協力をいただき、この場でお礼を申し上げます。

最後になりましたが、私たちはこの珈琲喫茶をマスターにちなんで「珈琲喫茶つのだ」と呼んでいます。末永く「珈琲喫茶つのだ」が続き、入居者の皆様の笑顔の場になれば良いと思っています。

珈琲を淹れる施設長

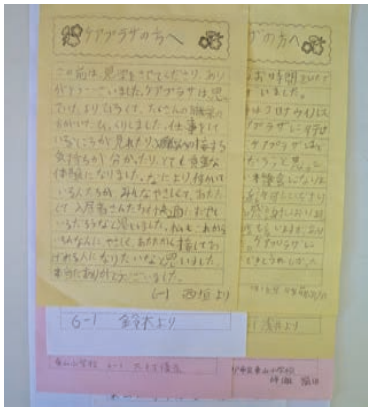
東山小学校との交流

介護課

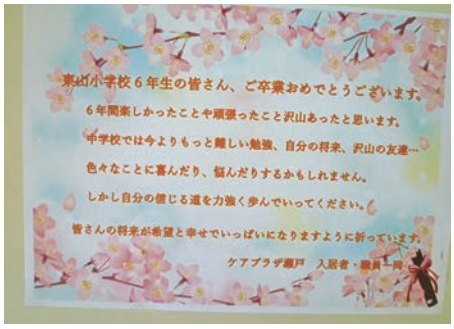
ケアプラザ瀬戸の近くにある東山小学校とは、小学3年生との『茶話会』等を開催して交流を深めて参りました。

令和6年度は、新型コロナ対策

入居者の方々へ頂いた手作りのプレゼント



小学6年生の皆さんから頂いたお礼のお手紙



卒業する皆さんへお祝いのメッセージ

のため飲食ができないので『茶話会』から改名した『交流会』で小学3年生の皆さんとの交流を深めたことに加え、小学6年生の皆さんに来ていただき『職業体験』として施設内を見学してもらう交流も行いました。その際には、入居者の方々へ手作りのしおりなどのプレゼントを頂きました。

後日、生徒さんからお礼のお手紙もいただき交流を深めることが出来ました。3月19日の卒業式には、入居者の方々と私たち職員からお祝いのお手紙をお送りし、卒業をお祝いしました。

ケアプラザ堺

桜のたより、甘酒に笑顔

介護課

ケアプラザ堺の玄関前にある桜の木が、今年も少しずつ咲き始めました。写真を撮影した3月26日時点ではまだ数輪のみの開花で、満開には程遠い状態でしたが、淡い桜色を見ると、春の訪れを感じて心がなごみました。今年は気温の変化が激しく、花の開き方もゆっくりしているように感じられました。そんな中、ささやかなお花見気分を味わっていただこうと、昼食にあわせておいしい甘酒を提供させていただきました。あたたかな一杯に、皆さま自然と笑顔がこぼれ、なごやかなひとときを過ごされていました。これからも季節のうつろいを感じていただけるような時間を大切にしていきたいと思います。

数輪の開花に、春の訪れを感じて

温かな甘酒に笑顔がこぼれます

『桜満開の中で、新玉ねぎ収穫祭』

介護課

桜が満開となった4月9日（水）、施設農園で収穫祭が行われました。入居者の方々とスタッフ共同で日々丹精こめて育てた新玉ねぎが立派に育ちました。

春の息吹を感じながら心地良い気候のなか、皆で楽しく土を掘って収穫作業をしました。土の中から沢山連なって出て来る新玉ねぎを見ると、あちこちから歓声が上がり次々と収穫していきました。そして、4月12日（土）昼食のカレーの副菜としてサラダの上に新玉ねぎが添えられました。みずみずしく、甘みを感じる程十分に行き渡る量ではありませんでしたが、サラダに添えられた手づくりの新玉ねぎの味は、育てた過程を考えると、とても美味しく感じられました。次は秋の収穫祭を楽しみに入居者の方々と共に食育の推進に励みたいと考えています。

春の息吹を感じながら新玉ねぎを収穫する入居者の皆様

ケアプラザ呉

『カラオケ発表会』

総務課

2月5日（水）今シーズン最強の寒波が襲来し、雪が降りしきる中、ケアプラザ呉では恒例のカラオケ発表会を開催しました。

会場の多目的ホールには入居者の方々と職員総勢40名が集まり、その中から7名の入居者の方々が事前に歌唱を希望されました。会が始まると、歌唱中に感情が高ぶり涙を流される方、昨年上手く歌えなかった雪辱を果たすべく練習に練習を重ねて本番に臨まれ熱唱される方、皆さんの熱演に刺激を受け飛び入り参加をされる方など、熱

熱唱される入居者様

気は冷めることなく合計10名の入居者の方々に熱唱していただきました。また、男性職員2名も衣装を身に纏って熱唱し会を盛りあげました。

そして、会場にいた職員はタンバリンやマラカスを手に入居者の方々の熱唱を応援し、会場は最高潮のムードに達し黄色い声援も飛び交いました。

外は凍える寒さでしたが、会場は終始熱気に包まれ、温かい雰囲気の中、入居者の皆様、職員共に楽しい時間を過ごすことができました。

『お花見会』

介護課

令和7年度を迎え、ケアプラザ呉では桜の開花状況と天候を考慮し、新年度早々の4月2日（水）に恒例のお花見会を開催しました。

今年の桜は3月26日に数輪開花し、その後は今か今かとワクワクドキドキしながら開花状況を日々観察しました。

桜の木の下で、笑顔で記念撮影

お花見会当日、午前中は雲が多く肌寒かったですが、開始の午後一時半頃には、青空となり温かい陽ざしも出てポカポカ陽気となりました。桜は五、六分咲きではありましたが、濃いピンクが美しくお花見には十分な開花状態でした。

入居者の半数近くの方々が参加され、コーヒーを飲んだり写真を撮ったり、楽しい春のひとときを思い思いに過ごされていました。

お花見会終了後には、当日参加できなかった入居者の方々の居室に職員が桜の花を数輪持って訪問したところ、嬉しそうにニッコリ喜んでいただき、今年のお花見会も笑顔の花咲く良いイベントとなりました。

ケアプラザ新居浜

観桜会に参加して

入居者　小野田よしゑ

4月2日（水）、観桜会と称したケアプラザ新居浜の行事で施設から車で10分ほどの「みなとオアシスマリンパーク新居浜」へ行き、久しぶりの海や船、そして七分咲きの桜を観ることができました。病院受診等で普段通らない道を施設のバスでドライブし、施設から提供されたジュースとおやつに舌鼓を打ちながら初めてのパークで海辺の散歩。

写真中央の車椅子に乗車されている方が小野田様

施設を出発したときは曇り空でしたが、現地で散策を始めると陽が降り注ぎ、ゆったりとした心地よい気分で皆が自然と笑顔になり楽しいお花見になりました。

はじめまして

総務課　田畑智恵美

4月1日付けでケアプラザ新居浜の総務担当として働かせていただくことになりました。

これまでの人生で介護の業界に携わるのは初めてなので、分からないことばかりでご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、一日でも早く入居者の皆様やそのご家族の皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。何卒、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

また、少しでも早く皆様と打ち解けられればと思っていますので、どうぞ気軽にお声がけいただければ嬉しいです。

慣れない環境ながらも円滑に業務をこなす
田畑総務課員

ケアプラザ宇土

「救急フレンドシップ事業所に認定されました」

総務課

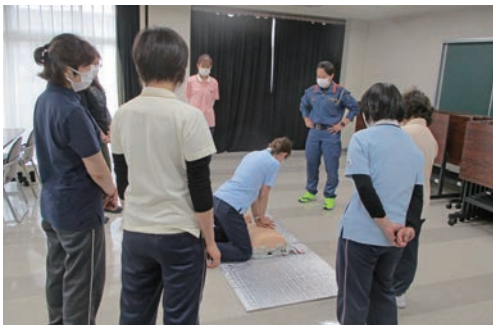
3月1日（土）、宇城広域連合消防本部北消防署職員を講師に招き、職員を対象に、救命法講習会を開催しました。講習会では心肺蘇生法（胸骨圧迫）やAED（自動体外式除細動器）の使用方法等を実技形式で学びました。この講習会は、令和6年10月26日（土）にも開催しました。

今回ケアプラザ宇土は、年度内に講習会を2回以上開催し全職員の半数以上が受講したこと、そして施設が消防

第６号
認定証
一般財団法人　労災サポートセンター
熊本労災特別介護施設
ケアプラザ宇土　様
貴事業所は救命処置の必要性を理解され知識の維持向上のため毎年複数回の救命講習を受講されておりますので救急フレンドシップ事業所として認定します
令和７年４月１日
宇城広域連合消防本部
消防長　島松　一宏

救急フレンドシップ事業所認定証

関係法令に適合していることの２つの要件を満たしたため、４月１日付けで、「救急フレンドシップ事業所」の認定を受けました。



救命法講習会の様子

この制度は、重篤な傷病者が発生した際、適切な応急手当を行うことができる体制を維持継続する事業所を認定することにより、地域における安全で安心なまちづくりの推進に資することを目的として、宇城広域連合消防本部が昨年度から独自に設けているものです。

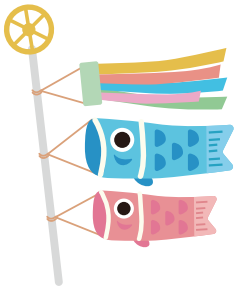
今後も、いざという時に、職員が少しでも救命率の向上に貢献できるよう継続的に講習会を開催していきます。

「チーム対抗！風船バレー大会」

行事運営委員会

４月16日（水）、施設内コミュニティホールで、「風船バレー大会」を開催しました。今回は、入居者の方々からの「毎月開催してほしい」との声にこたえ、通常は年１回開催のところ、今年１月に実施した前回大会から３か月後のスピード開催となりました。今後も、入居者の方々の要望に応じて、みんなで楽しむことができて盛り上がる行事を企画し実施していきたいと思います。

エースの大活躍！風船バレー大会



「本年度事業計画」の重点対策

令和７年３月27日に開催された理事会において本年度の事業計画が決定されましたので、ケアプラザに関する重点的な取組み事項についてお知らせします。

（１）施設運営の基本方針

在宅で介護が困難な重度被災労働者等に対して、施設において、入居者の尊厳を重んじるとともに、産業の発展に貢献する中で不測の労働災害により被災したという心情にも十分配慮しつつ、その自立の精神を尊重し、安心していきいきとした生活が営めるよう、新型コロナウイルスを始めとする感染症防止対策を徹底しながら、以下の５つの基本的方針の下に施設を運営する。

① 入居者各人の傷病・障害及び健康の状態に応じた専門的な介護サービスを提供する。

② 入居者の健康維持のため、近隣の労災病院や地域の中核となる病院等の医療機関及び労災による傷病・障害等に精通した医師等（医療コンサルタント）の協力を得て健康管理、健康相談を実施するとともに、入居者の残存機能を維持するための訓練の実施に努める。

③ 診療を要する入居者のため、近隣の医療機関への受診の支援を行うとともに、病状の急変時等には、迅速適切に対応する。

④ 入居者が潤いのある快適な生活を送れるよう、入居者のニーズに応じたクラブ活動や催し物等各種の行事を開催する。

⑤ 職員一人ひとりが、人権尊重とノーマライゼーションの理念に基づき、専門的で公平公正な介護サービスを提供するとともに、自己研鑽に努める。

（２）入居促進対策の推進

（３）適切な介護サービスの提供

ア　数値目標の達成

イ　重点取組事項

（ア）入居者の傷病・障害及び健康の状態に応じた介護サービスの提供

（イ）入居者の健康管理

（ウ）苦情等への対応

（４）介護に関する研究の実施

（５）防災への取組み